

尚綱大学 尚綱大学短期大学部
オープンキャンパス
7/23(土)・7/24(日)・8/6(土)・
11/20(日)「進学相談会」「尚綱祭」と同時開催

申込
不要

受付開始/9:30～
内容／学部・学科説明、学科・コース体験、
キャンパスツアー、
模擬授業、個別相談など
〈九品寺キャンパス〉●生活科学部栄養科学科 ●総合生活学科 ●食物栄養学科
〈武蔵ヶ丘キャンパス〉●文化言語学部文化言語学科 ●幼児教育学科



尚綱中学校 尚綱高等学校
オープンスクール
7/9(土)・8/6(土)・8/27(土)
10:00～

申込
不要

内容／学校紹介、授業体験、部活動体験・見学など



オープンキャンパス&オープンスクール参加特典 参加者全員にオリジナルグッズをプレゼント!
※詳細についてのお問い合わせ先 尚綱大学/尚綱大学短期大学部入試センター ☎096-273-6300 尚綱高等学校/尚綱中学校 ☎096-366-0295

尚綱大学 尚綱大学短期大学部 平成29年度 入試日程のお知らせ
※詳しくは募集要項またはWEBでご確認ください。〈お問い合わせ先〉尚綱大学・尚綱大学短期大学部入試センター ☎096-273-6300

学部学科		入試区分	エントリー期間		授業体験・面談		結果連絡	出願期間	合格通知発送	入学手続締切
大 学	文化言語学部 文化言語学科	AO入試<第1回>	平成28年 8月 8日(月)～	8月26日(金)	9月 3日(土)	9月 9日(金)	平成28年 9月12日(月)～	9月23日(金)	9月28日(水)	10月14日(金)
		AO入試<第2回>	平成28年 9月12日(月)～	9月30日(金)	10月 8日(土)	10月14日(金)	平成28年10月17日(月)～	10月28日(金)	11月 2日(水)	11月18日(金)
短期大学部	総合生活学科	AO入試<第1回>	平成28年 8月 8日(月)～	8月26日(金)	9月 3日(土)	9月 9日(金)	平成28年 9月12日(月)～	9月23日(金)	9月28日(水)	10月14日(金)
		AO入試<第2回>	平成28年 9月12日(月)～	9月30日(金)	10月 8日(土)	10月14日(金)	平成28年10月17日(月)～	10月28日(金)	11月 2日(水)	11月18日(金)
		AO入試<第3回>	平成28年11月 7日(月)～	11月25日(金)	12月 3日(土)	12月 9日(金)	平成28年12月12日(月)～	12月20日(火)	12月26日(月)	1月 6日(金)

学部学科		入試区分	出願期間	選考日	合格発表	入学手続締切
大 学	文化言語学部 文化言語学科	推薦入試(指定校、一般、併設校) 社会人、外国人留学生入試	平成28年11月 1日(火)～11月 8日(火)	11月12日(土)	11月21日(月)	12月 2日(金)
		自己推薦入試<第1回>	平成28年11月21日(月)～11月30日(水)	12月 3日(土)	12月12日(月)	12月26日(月)
	生活科学部 栄養科学科	推薦入試(一般、併設校)	平成28年11月 1日(火)～11月 8日(火)	11月12日(土)	11月21日(月)	12月 2日(金)
		編入学試験(3年次)	平成28年11月21日(月)～11月30日(水)	12月 3日(土)	12月12日(月)	12月26日(月)
短期大学部	総合生活学科	推薦入試(指定校、一般、併設校) 社会人、外国人留学生入試	平成28年11月 1日(火)～11月 8日(火)	11月13日(日)	11月21日(月)	12月 2日(金)
	食物栄養学科					
	幼児教育学科					

※推薦入試以降の入試につきましては、次号でお知らせいたします。 ※選考は全ての入試区分において九品寺キャンパスにて実施します。

尚綱中学校 尚綱高等学校
尚綱中学校 学校説明会 10月16日(日) 入試説明会 11月12日(土)、12月10日(土)、2月11日(土)
尚綱高等学校 学校説明会 10月16日(日) 入試説明会 11月12日(土) 全日程 10:00開始 申込不要

後 塞
まさか熊本が、まさか自分が被災者になるなんて。こう思った人も多いのではないだろうか。この度の熊本地震により、自然災害の脅威を知るとともに、日常のありがたさを改めて知ることとなった。やはり、食糧やライフラインの重要性を一番身に染みて感じた。食べ物、電気、ガス、水道、その他いつも当たり前にあるものがないことがこんなにも不便で、人を不安にさせるとは思いもしなかった。いつ何が起きるかなんて誰にも分からない。だからこそ、今ある何気ない日常を、自分なりに噛みしめて日々過ごさなければと思う。誰かが側にいて、いつもと変わらない日常がある。ただそのことに感謝して、一日一日を大切に送りたい。そして、今後の熊本が元気になっていくことを願う。(A.K)

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚綱学園 編集スタッフ/黒瀬英夫、水政行弘、田中仁美、小松野愛、村上悠、古澤千鶴 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚綱大学 尚綱大学短期大学部
尚綱高等学校 尚綱中学校(中高一貫)
幼保連携型認定こども園
尚綱大学短期大学部附属こども園

尚綱学園広報誌
Vol.24



武蔵ヶ丘キャンパス
(尚綱大学短期大学部附属こども園)

Vol.24 CONTENTS

特集 P1-P3
イベントレポート P4
寄附者芳名録、新任教職員紹介 P5
平成27年度決算の概要と事業報告
平成28年度事業計画 P6-P9
インフォメーション P10-11



学園の復旧・復興の取り組み

熊本地震発生から 約3ヵ月、改めてこの度の震災でお亡くなりになられた方々に
謹んで哀悼の意を 表しますとともに、被災されたすべての方に心よりお見舞い申し上げます。

尚絅学園の復興支援に関する主な出来事

4月14日(木)	21時26分	熊本県熊本地方の深さ約10kmでマグニチュード6.5の地震が発生。 熊本県で最大震度7を観測
	23時00分	地震対策本部を設置 ・学生・生徒・園児・教職員の安否確認 ・建物・設備の被害状況等確認 ・近隣住民の避難者は数名程度、場所を解放する ・ドミー寮生など帰宅困難な学生・生徒を尚絅学舎へ誘導(九品寺) ・如蘭学寮生、近隣アパート学生を附属こども園新園舎へ誘導(武蔵ヶ丘)

4月15日(金)		・予定している行事、会議等全て中止、全学で休校・休講措置 ・被害状況、安否状況確認 ・「応急危険度判定」実施 ～17日
----------	--	---

4月16日(土)	01時25分	熊本県熊本地方の深さ約10kmでマグニチュード7.3の地震が発生。 熊本県で最大震度7を観測
	02時30分	地震対策本部を設置 ・学生・生徒・園児・教職員の安否確認 ・避難者多数発生。被災者の要望を受け避難所として16日未明、受入開始(九品寺キャンパス)。指定避難所でなかったため、救援物資が届かず、炊き出し等の調達は学内災害用備蓄用や自前調達の支援物資などにより教職員が炊き出し等の対応を実施。

4月17日(日)		避難所を継続(ピーク時 避難者数 約250名) この間電気・水道・ガスのライフラインが停止
----------	--	---

4月18日(月)		周辺地区の電気、水道等のライフラインが正常化し、スーパーなど飲食店が営業を始めた
	10時00分	避難所閉所
		・復旧に向けて作業開始

4月25日(月)		尚絅ボランティア支援センターにより、熊本地震に関する災害ボランティアを希望する学生・教職員への 学内ボランティア登録開始 。 すでに災害ボランティア活動をしている学生にも学内登録を周知。 約150名がボランティアに登録。(4月28日現在)
----------	--	--

4月28日(木)～5月1日(日)		4日間に渡り学生等が使用する全ての建物について「被災度区分判定」実施。
------------------	--	--

5月 6日(金)		被災度区分判定結果公表 一部を除き、すべての建物について安全であると判断 授業再開を決定 学生相談窓口開設 ・震災に伴う心のケア、被災・通学困難に直面した悩みに関すること ・授業料納付に関すること ・奨学金申込みに関すること ・学修支援、就職進学支援
----------	--	--

5月10日(火)		授業再開 大学・短大部、中学・高校にて避難訓練の実施(こども園は28日実施)
----------	--	--

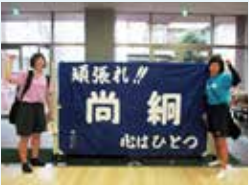
6月 1日(水)		熊本地震復興支援募金口座開設 その後、余震が現在も続いているが、建物・施設被害の復旧に向かって、教職員一丸となって取組んでいる。
----------	--	--



被災直後の学内
(4月16日)



避難所開設
(4月16日)



授業再開
(5月10日)

復旧にむけて

■ ライフラインについて

	九品寺キャンパス	武蔵ヶ丘キャンパス
電 気	4月17日(日)2時頃停電 同日11時復旧	停電せず
水 道	上水道について断水が続いた。上水道は貯水槽を使用し、節水を行い、トイレ等に使用している地下水は水槽の水の入れ替えを行い復旧。	上水道は濁りがあるため当初、飲み水利用は見送った。地下水は貯水槽破損のため断水していたが、復旧。こども園については、上水道、地下水問題なし。
ガ ス	一部の建物でガス漏れのため停止していたが復旧。	こども園ともに異常なし。

■ 安否確認について

教職員について	前震、本震後2回実施し、全教職員219名の無事を確認。
学生・生徒・園児について	前震、本震後2回実施し、 大学・短大1067名、中学・高校727名、こども園286名全員の無事を確認。
被害状況について	教職員・・・・・・自宅全壊・半壊等14名(4月28日現在) 学生・生徒・・・自宅全壊・半壊等97名(4月28日現在)

■ 施設・設備の被害状況について

第1段階 「応急危険度判定」 (余震に対する安全性の調査)	4月15日(金)～17日(日)の3日間で両キャンパス、施工業者設計担当者による安全確認を実施。 こども園については18日(月)に施工業者設計担当者による安全確認を実施。 さらに、20日(水)～22日(金)の3日間で施工業者の構造設計士、コンクリート診断士等により両キャンパス全ての建物を再確認。
第2段階 「被災度区分判定」	4月28日(木)～5月1日(日)の4日間に渡り施工業者により学生が使用するすべての建物について調査を実施。 その結果、武蔵ヶ丘キャンパス体育館及びロッカー室を除きすべての建物について「使用可」の判定となり、校舎等の建物について安全であると判断した。(5月6日現在)

■ 尚絅学舎・如蘭学寮・社宅等について

尚絅学舎を教職員の緊急避難場所として提供した。

■ 授業の対応

大学・短大部・中学・高校	4月21日(木)15時00分時点 学生・生徒の安全確保、熊本県下のインフラ状況等を勘察し、5月9日(月)までの休講(校)を決定。即時WEBページにて周知。学生、生徒に対しては教務システム、安全安心メール、電話等により対応。
こども園	1号認定こども園児は他の幼稚園と同様、5月9日(月)まで休園とし、 2号、3号認定こども園児は個別で対応。

学校法人尚絅学園 熊本地震復興支援募金について

平成28年4月14日以降に発生した地震により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。併せて、本学園に対しても卒業生ならびに地域社会を始め、全国の各方面より多くの震災お見舞い等お心遣いを賜りましたことにお礼申し上げます。本学園におきましても、建物・施設関係に多大な被害を受けましたが、現在、総力を挙げて復旧に努めており、一時停止しておりました授業関係につきましても、全学5/10(火)に再開しております。

しかしながら今回の震災に伴う本学園の学生・生徒・園児への就学支援、および建物・施設・研究機器等の修復のためには多額の資金を要し、広くご支援を仰ぐ必要がありますことから、誠に恐縮ではございますが、復興支援専用の募金口座を設けることといたしました。

今後の学校運営の正常化ならびに建物・施設被害の復旧に向かって、教職員一丸となって取組んで参る所存ですので、何卒ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

学校法人 尚絅学園
理事長 池満 淵

1. 寄附金の目的

熊本地震で被災した本学園の学生・生徒・園児への就学支援や、校舎等の修復といった教育・研究環境の原状回復等

2. 申込及び振込方法、税制上の優遇措置について

詳しくは尚絅学園のホームページをご覧ください。

いただいた寄附金の用途等につきましては、改めて尚絅学園のホームページでご報告させていただきます。

3. 問い合わせ先

学校法人尚絅学園 学園事務局総務部経理課(平日9:00~17:00)

〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78

TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 E-mail:keiri@shokei-gakuen.ac.jp

学生ボランティア — 尚絅ボランティア支援センター —

今回の熊本地震に関するボランティアについて、学生・教職員を含め、170名の登録があり、5月の大型連休中には多くの学生が被災地でのボランティア活動を行いました。

4月22日より益城町役場第2駐車場にてNPO法人キャンパーによる炊き出しが開始されました。将来栄養士を目指す学生は、食事面・栄養面での支援ができないかと考え、被災した学生もボランティアに加わり、短期大学部食物栄養学科50名がボランティアとして23日から5月8日まで参加しました。

常時15名の学生が1日1000食から1400食を提供。1日1000食以上の大量調理を行うこと自体初めてで、さらに災害という特別な状況下での調理や衛生管理に、初めは戸惑うこともあったようですが、NPOスタッフの御指導を頂き、日を追うごとに成長が見られ、学生一人一人が自分の役割を考え、チームワークを意識して行動できるようになりました。向上したのは調理技術だけでなく、連日の炊き出しの中でも笑顔で明るく住民の方々とコミュニケーションをとりながら、やりがいや自信を感じたようです。

人と人とのつながりや助け合い、温かい食事が人を笑顔にすることを学び、参加した学生からは「栄養士を目指す気持ちがより一層高まった」との感想も聞かれました。

その他、熊本市災害ボランティアセンターを通じたボランティアをはじめ、被災した病院での託児所ボランティアなど、多方面で本学学生が活躍しています。今後も引き続き、被災支援活動を行う予定です。



幼保連携型認定こども園 尚絅大学短期大学部附属こども園

平成28年4月、幼稚園から幼保連携型認定こども園「尚絅大学短期大学部附属こども園」として新しくスタートしました。既存の園舎の東側に連なって建てられた保育棟は、木の香りが漂い、落ち着いた雰囲気になっています。保育棟には、0歳児から満3歳児クラスの保育室と保育認定の3歳児から5歳児クラスの子どもが夕方まで過ごす保育室、他に100人が一度に食事ができるランチルームや地域の子育て親子が集う子育て支援室が



あります。0歳児から5歳児までの園児が混じり合って遊ぶ光景は今までにはなく、小さい赤ちゃんが乗ったベビーカーにかけ寄り、あやして笑ったり言葉をかけたりして、ほほえましい交流が見られます。また、新しく給食が始まりました。調理室を完備し、自園での完全給食を実施しております。最初は、苦手なメニューや食材の前に箸が進まなかった子どもたちも、先生やお友だちと一緒に同じメニューを食べることで会話も弾み、楽しく食事をする事ができています。幼稚園として47年間にわたり豊かな自然とそこで大切にされてきた遊びの文化を引き継ぎ、自然の事象や動植物に親しみ、命を大切にする気持ちを育てていきます。

子育て支援室どんぐりルーム「ころころ」のご紹介

平成28年4月、幼稚園からこども園に移行し、新たに地域子育て支援室どんぐりルーム「ころころ」を開所しました。地域の子育て中の親子が安心して遊べる場の提供、子育て中の親子同士の交流、子育て支援情報の提供や子育て相談等をおこないます。日々来園される親子に、担当の先生が温かく迎え入れ、好きな遊びを楽しんだり、手遊びや絵本を見たりして過ごします。園庭では、在園児の子ども達に混じり、砂遊びや散歩など楽しんでいる姿が見られます。園を地域に開き、子育ての支援をおこなうと共に、尚絅こども園の教育・保育を理解していただく場になるよう努めていきたいと思ひます。地域の子育て中の保護者の皆様、ぜひ、一度ご来園ください。お待ちしております。



尚絅高等学校

和装礼法部 全日本きもの装いコンテスト世界大会で2冠に輝く 県民文化賞も受賞



平成28年4月3日(日)東京NHKホールにて、2016年日本の心と美の祭典 全日本きもの装いコンテスト世界大会(全日本きものコンサルタント協会主催)が開催されました。地区大会を勝ち抜いた約220人が出場し、3人1組の学校対抗の部、高校3年生倉本百々日さん、橋本夏季さん、田上愛莉さんが優勝、振袖の部で高校3年生細江美有さんが2位に輝きました。短時間で鏡を見ずに着物をどれだけ美しく着られるか、歩き方やお辞儀の仕方およびスピーチなどが審査され、高校生と思わせない堂々とした立ち居振る舞いを披露しました。昨年度も全7部門でトップの「装いの女王」に2年連続で輝き、今年度も学校対抗の部で2年連続優勝と栄冠を受け継ぐこともできました。また、これまでの優勝の功績と日本文化の素晴らしさを広める活動が認められ、平成28年1月和装礼法部がくまもと県民文化賞(夢部門)を受賞しました。「特に将来において期待されるもの」に贈られる賞で、部員のみならず全校の喜びとなりました。

尚絅学園

平成27年度 第2回提案制度表彰式

平成28年3月24日(木)に「提案制度」の表彰式が行われました。

今回で4回目となる提案審査の結果、応募数11通の提案の中から5件の提案が採用され、受賞者に対して理事長から表彰状が授与されました。

今後も提案制度の活性化を図り、学園の一層の向上に努めていきます。



【125周年記念育英奨学寄附金】の報告とお願い

本学園の育英奨学金制度の充実を図るため、寄附金募集活動を平成25年5月より行っています。皆様より、ご寄附いただいた寄附金は、現行の制度に加え、更に新設及び改正を行い、経済的理由により修学に困難がありつつも、優れた学生・生徒に対して、これを奨励・支援していくための育英奨学資金として主に活用されます。

ここに、平成27年11月から平成28年5月末までの寄附の応募状況及び、寄附者ご芳名を掲載させていただきます。多方面のたくさんの方々からご寄附いただきましたことを、心より厚くお礼申し上げます。今後とも、より多くの皆様のご協力ご支援を賜り、学生・生徒のための育英奨学資金の充実を図りたく、よろしくお願い申し上げます。

寄附者芳名録

平成27年11月～平成28年5月末現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄 附 金 内 訳

卒業生 2件/¥30,000	個人・法人・企業等 2件/¥400,000	現旧役員・教職員 5件/¥630,000	合計 9件/¥1,060,000
-------------------	--------------------------	-------------------------	---------------------

卒業生・現旧役員教職員・個人・法人・企業

(順不同)

大 羽 宏 一 様	田 中 眞 知 子 様	松 尾 千 鶴 子 様	黒 瀬 英 夫 様	堀 尾 久 美 枝 様	株式会社 熊日広告社 様
-----------	-------------	-------------	-----------	-------------	--------------

寄附者ご芳名の発表は「個人情報保護に関する法律」に基づき、ご寄附のお申し込みの際にあらかじめ同意された方のみを掲載しています。匿名を希望された方でご芳名発表の変更をご希望の場合は、学園事務局までご連絡ください。なお、申込書の掲載希望欄に印の記入のない場合にはすべてご芳名発表とさせていただきます。

・名簿整理には慎重を期しておりますが、万一、まちがいがございました場合はご連絡ください。

寄附金

(1)個人 ……………1口5,000円(何口でも結構ですし、設定金額以外でも有難くお受けいたします。)

(2)法人・団体 ……1口の金額は定めておりません。

※なお、それぞれ税の優遇制度を設けておりますのでご利用いただけます。 ※寄附金募集に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

学校法人尚絅学園学園事務局経理課(窓口平日9:00～17:00) 〒862-8678 熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78

TEL. 096-364-0116(代表) FAX. 096-363-6520 E-mail:keiri@shokei-gakuen.ac.jp

【尚絅高等学校・尚絅中学校】			
特待等の種別	採用の目安等	免除・給付	寄附金事業実績
専願特待生	市外・県外に保護者が在住する生徒で、学業・特技に特に優れたもの、経済的理由で就学が困難な生徒が免除対象となります。(入寮が条件)	入学金・教育振興費・授業料相当額・施設費・教育充実費・その他校納金	3名
卒業生家族特待生	母又は祖母が尚絅大・短大・高校の卒業生の生徒が免除対象となります。(特待・特技SS・A・B・C・専願生の重複不可)	入学金	0名
海外留学奨学金	語学研修など海外への短期・長期留学する生徒が給付対象となります。(高等学校のみ)	1回につき 100,000円	0名

【尚絅大学・尚絅大学短期大学部】			
特待等の種別	採用の目安等	免除・給付	寄附金事業実績
如蘭学寮 寮費免除	保護者が県外に在住する学生や通学時間に片道1時間以上要する学生であり、学業・特技に優れ、かつ経済的理由等で就学が困難な場合、免除対象となります。	寮費(月額19,000円)・通学定期券代	13名
姉妹入学金減免	①本学に入学する4月時点で本学に在学者の姉妹(2人目以降の学生、②も同様) ②複数人が同一年度に入学する姉妹	入学金の1/2	7名
海外留学奨学金	語学留学など海外への短期・長期留学する学生が対象となります。(交換留学を含む)	留学期間別に20,000円～100,000円	17名

新任教職員紹介				平成28年4月1日現在
■尚絅大学生活科学部／栄養科学科 下村 裕史(教授) 大柿 恵子(講師) 松田 菜那(助手) 本村 恵理子(助手)				
■尚絅大学短期大学部／総合生活学科 藤本 美由紀(講師)				
■尚絅大学短期大学部／食物栄養学科 原田 香(助教)				
■尚絅大学短期大学部／幼児教育学科 竹下 徹(准教授)				
■尚絅高等学校 西口 裕美子(教諭) 歌岡 彰子(教諭) 日高 茜(講師) 三岳 柁智(講師)				
■尚絅大学短期大学部附属こども園 上原 理子(保育教諭) 窪田 麻衣子(保育教諭) 合志 芽(保育教諭) 嶋田 夏美(保育教諭) 高村 真由美(保育教諭) 立山 純子(保育教諭) 永野 京香(保育教諭) 森田 絢子(保育教諭) 森山 里咲(保育教諭) 山田 品代(保育教諭) 横山 友(保育教諭) 赤星 亜希(管理栄養士)				
■尚絅大学／九品寺キャンパス 片野田 要(経理課長補佐) 市原 智恵(就職課長補佐) 山下 和毅(入試アドバイザー) 木村 杏莉(職員) 木庭 敦子(職員) 小松野 愛(職員) 北川 さき(職員) 副島 夏希(養護教諭)				
■尚絅大学／武蔵ヶ丘キャンパス 塚本 馨子(職員) 白坂 捺美(職員) 島崎 真理子(職員)				
■尚絅高等学校 尚絅中学校 武田 優子(養護教諭) 石原 優花(職員)				

学校法人尚絅学園 平成27年度決算の概要と事業報告

1. 決算の概要

学校法人尚絅学園の平成27年度決算は、平成28年5月27日開催の理事会において承認・議決され、同日開催の評議員会に報告されました。また、監事及び監査法人の承認を得ております。以下、その内容についてご説明いたします。
 なお、平成27年度から、学校会計基準の変更に伴い、新学校会計基準に基づき記載しています。

(1)資金収支計算書 資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対応するすべての資金の収入及び支出の内容を明らかにして、支払資金の収入及び支出の顚末を明らかにしています。

資金収入の部	平成27年度	前年度	増 減	資金支出の部	平成27年度	前年度	増 減
学生生徒等納付金収入	1,504	1,546	△ 42	人件費支出	1,408	1,361	47
手数料収入	26	26	0	教育研究経費支出	344	323	21
寄付金収入	8	15	△ 7	管理経費支出	109	102	7
補助金収入	532	544	△ 12	借入金等利息支出	1	2	△ 1
資産運用収入	2	4	△ 2	借入金等返済支出	14	36	△ 22
資産売却収入	0	0	0	施設関係支出	293	41	252
事業収入	3	3	△ 0	設備関係支出	51	64	△ 13
雑収入	82	45	37	資産運用支出	57	261	△ 204
前受金収入	464	468	△ 4	その他の支出	55	85	△ 30
その他の収入	73	156	△ 83	資金支出調整勘定	△ 60	△ 32	△ 28
資金収入調整勘定	△ 538	△ 552	14	支出の部小計	2,272	2,243	29
前年度繰越支払資金	890	876	14	次年度繰越支払資金	773	890	△ 117
収入の部合計	3,045	3,133	△ 88	支出の部合計	3,045	3,133	△ 88

資金収支計算書の収入の部において、学生生徒納付金収入は1,504百万円となり、前年度比42百万円減少しました。また、補助金収入として532百万円を計上し、前年度比12百万円減少しています。寄付金収入は8百万円を計上し、前年度比7百万円減少しました。

支出の部では、人件費支出が1,408百万円となり、前年度比47百万円増加しました。教育研究経費支出は344百万円で前年度比21百万円増加しています。また、施設関係支出は293百万円となり、前年度比252百万円と大きく増加していますが、これは平成28年4月に移行した附属こども園の新園舎建設に伴うものです。その他、資産運用支出が57百万円となり、前年度比204百万円減少しました。以上の結果により、次年度繰越金は773百万円となり前年度比117百万円減少いたしました。

(2)事業活動収支計算書 事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容、収支状況を明らかにして、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示しています。なお、従来学校会計では消費収支計算書が使われてきましたが、平成27年度より事業活動収支計算書が使われることになりました。

事業活動収支計算書要約	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで	(単位:百万円)	
事業活動収入の部	平成27年度	事業活動支出の部	平成27年度
(教育活動収入計)	(2,164)	(教育活動支出計)	(2,259)
学生生徒等納付金	1,504	人件費	1,397
手数料	26	教育研究経費	717
寄附金	9	(内奨学費)	(74)
経常費等補助金	532	(内減価償却額)	(373)
付随事業収入	3	管理経費	145
雑収入	91	(内減価償却額)	(23)
(教育活動外収入計)	(2)	(教育活動外支出計)	(1)
受取利息・配当金	2	借入金等利息	1
(特別収入計)	(7)	(特別支出計)	(0)
現物寄付	7	資産処分差額	0
事業活動収入計	2,173	事業活動支出計	2,260
		基本金組入前当年度収支差額	△ 87
		基本金組入額	△ 315
		当年度収支差額	△ 403

事業活動収支計算書は平成27年度から新たに設けられており、前年度との比較が単純には出来ませんが、収入面では学生生徒納付金が1,504百万円となり、前年度比43百万円減少し、経常費等補助金は532百万円となり、前年度比12百万円減少しています。支出面では人件費が1,397百万円となり、前年度比43百万円増加し、教育研究経費が717百万円となり、前年度比13百万円増加しています。このように収入が減って支出が増加していますので、当年度の基本金組入前収支差額（一般法人の税引前当期利益に該当）は▲87百万円と3期ぶりに赤字を計上することになりました。

(3) 貸借対照表 貸借対照表は、一定時点（決算日）における資産、基本金、消費収支差額の内容と在高を明示して学校法人の財政状況を明らかにしています。

貸借対照表 平成28年3月31日

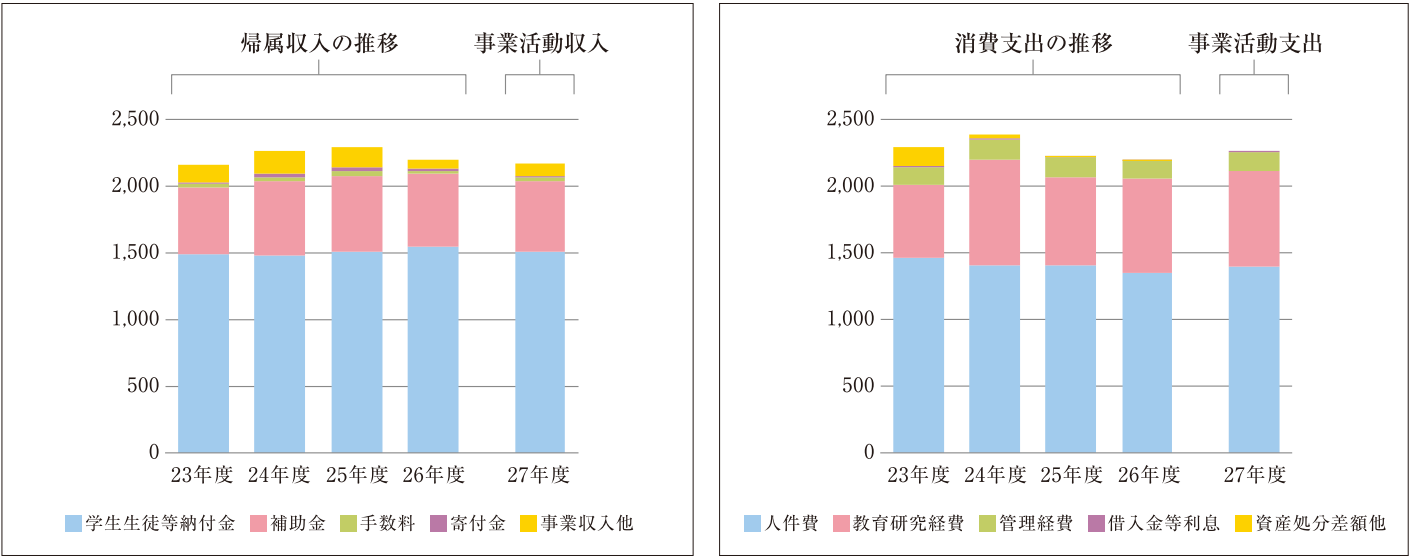
（単位：百万円）				（単位：百万円）			
資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,216	10,236	△ 20	固定負債	456	499	△ 43
有形固定資産	8,781	8,836	△ 56	長期借入金	14	28	△ 14
土地	1,023	1,023	0	退職給与引当金	438	459	△ 20
建物	6,130	6,178	△ 48	長期未払金	4	12	△ 8
構築物	360	336	24	流動負債	589	561	29
教育研究用機器備品	358	397	△ 39	短期借入金	14	14	0
その他の機器備品	39	42	△ 3	未払金	68	46	22
図書	871	858	13	前受金	464	468	△ 4
車両	0	3	△ 3	預り金	43	33	11
その他の固定資産	1,435	1,400	35	負債の部合計	1,046	1,060	△ 14
有価証券	20	20	0	純資産の部			
退職給与引当特定資産	550	550	△ 0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
減価償却引当特定資産	100	100	△ 0	第1号基本金	13,462	13,264	198
施設設備引当特定資産	576	526	50	第3号基本金	175	175	1
第3号基本金引当特定資産	175	175	1	第4号基本金	148	148	0
奨学寄附金引当特定資産	4	8	△ 4	基本金の部合計	13,786	13,587	199
その他	10	21	△ 11	翌年度繰越収支差額	△ 3,585	△ 3,299	△ 286
流動資産	1,031	1,112	△ 81	繰越収支差額の部合計	△ 3,585	△ 3,299	△ 286
現金預金	773	890	△ 117	純資産の部合計	10,201	10,288	△ 87
未収入金	71	45	26	負債及び純資産の部合計			
有価証券	144	144	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
仮払金他	42	33	9	負債の部及び			
資産の部合計	11,246	11,348	△ 101	純資産の部合計	11,246	11,348	△ 101

平成27年度末における固定資産（土地・建物・機器備品・特定資産他）と流動資産（現金預金・未収入金他）を合わせた資産の部合計は11,246百万円で、建物や教育研究用機器備品の償却が進んだことにより、前年度末と比べて101百万円減少しました。

一方、長期借入金等の固定負債と短期借入金及び未払金等の流動負債の合計額は1,046百万円となり、前年度末と比べて14百万円減少しました。

平成22年度から平成26年度まで「消費収支の推移」※科目は左端 平成27年度から「事業活動収支」※科目は右端 （単位：百万円）

収入の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	収入の部
学生生徒等納付金	1,491	1,483	1,505	1,546	1,504	学生生徒等納付金
補助金	498	557	574	544	532	経常費等補助金
手数料	31	29	31	26	26	手数料
寄付金	6	26	32	18	15	寄付金
事業収入他	130	173	154	67	94	付随事業収入＋雑収入
帰属収入合計	2,156	2,268	2,295	2,201	2,173	事業活動収入計
基本金組入額合計	△ 1,669	△ 1,456	△ 405	△ 134	△ 315	基本金組入額合計
消費収入の部合計	487	812	1,890	2,067		
支出の部	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	支出の部
人件費	1,464	1,406	1,406	1,354	1,397	人件費
教育研究経費	550	798	664	704	717	教育研究経費
管理経費	133	151	149	137	145	管理経費
借入金等利息	7	5	3	2	1	教育活動外支出
資産処分差額他	138	33	0	2	0	特別支出
消費支出の部合計	2,293	2,393	2,223	2,199	2,260	事業活動支出計
当年度消費支出超過額	1,806	1,582	332	132		



2. 事業報告

法人部門

- (1) 収支の安定的な黒字化
 - ①各学校・学部・学科ごとに学生（生徒）募集状況の分析を実施。
 - ②入学定員確保に向け効果的な募集活動方策を検討。
 - ③収入の多様性を図るため、寄附金募集活動や科研費等外部資金獲得に注力。
- (2) 人事制度の改革
 - ①人事評価制度の定着化、とくにフィードバックの定着化に注力。
 - ②適材適所の教職員配置、互換性向上を意識した人事異動を実施。
- (3) 組織・運営基盤の改革
 - ①各委員会の機能強化、委員会・部会の見直しを実施。
 - ②広報戦略を明確化し、学園広報を一元化するとともに情報発信力を強化。
 - ③自己点検評価・学校評価を実施しPDCAによる組織運営へ反映。
 - ④同窓会・後援会・保護者会と学校・法人の連携を強化。
- (4) 学修（習）環境の整備
 - ①幼保連携型認定こども園へ移行するため新園舎を建設。
 - ②Webページのタイムリーな更新と内容の充実に注力。
 - ③如蘭学寮・ドーミー熊本寮の利用促進策を検討・実施。

尚綱大学・尚綱大学短期大学部

- (1) 学生支援
 - ①入学時より各種資格の重要性・必要性を指導し、多様な資格取得を支援するために各種の対策講座・研修会等を開催。
 - ②奨学金制度・表彰制度の見直しに取組むとともに、新制度を検討。
- (2) 就職支援
 - ①キャリアガイダンスの参加事業所の見直し、新規参加の要請を行い、学生ニーズに合う形で実施。
- (3) 国際交流
 - ①仁徳大学校（韓国）との大学間交流協定に基づき2名の相互派遣を実施。
 - ②慈済大学（台湾）との大学間交流協定に基づき1名の派遣、2名の受入れを実施。
- (4) 教育・研究の充実
 - ①授業改善アンケートの結果を活用し授業の改善に取組み、授業に反映。
 - ②学生の基礎学力を把握し、習熟度別授業を強化。
 - ③尚綱子育て研究センター、尚綱食育研究センターの活動研究を推進。
- (5) 入試広報対策
 - ①高校訪問・出前授業・学校説明会等を積極的に実施。
 - ②子どもゆめ基金体験活動に管理栄養士体験学習を申請し採択され、体験学習を実施。
- (6) 地域社会との連携
 - ①地域連携推進センターを新たに設置し活動を開始。
 - ②菊陽町、合志市と包括連携協定を締結。
 - ③尚綱公開講座（第26回）、文化言語学部公開講座（第9回）、尚綱子育て研究センター公開シンポジウム（第15回）等を開催。

尚綱中学校・高等学校

- (1) 生徒支援
 - ①進路情報の収集を強化し、進路指導・進路相談に積極的に活用。
 - ②奨学生制度・表彰制度を積極的に活用し、学修意欲の向上に注力。
 - ③課外授業の内容充実と徹底、尚綱塾・尚綱ゼミの積極開催等による目的別・習熟度別のきめ細やかな学習支援。
- (2) 人間教育プログラムの充実
 - ①外部組織・外部人材の積極的な活用による各種講話・研修会の実施。
 - ②高校卒業までに生徒全員がマナー検定上級の合格を目標とした取組みの実施。
- (3) 国際交流の推進
 - ①中学校・高校の海外修学旅行（シンガポール）実施。
 - ②韓国鶴城女子中学校とのパートナーシップ意向確認。
 - ③フランス（2名）、ドイツ（1名）から留学生を受入れ。

尚絅大学短期大学部附属幼稚園 ※H28年4月より尚絅大学短期大学部附属こども園

(1) 特色ある幼稚園づくり

- ①絵本室の絵本を100冊入替え、保護者による「絵本の読み聞かせ」を実施。②環境教育(節電・節水指導、節水栽培、環境講話等)の実施。
③自然環境に恵まれた立地を生かし、森の整備、園庭の整備を実施。

(2) 子育て支援

- ①保護者向け講演会を6回実施、「おしゃべり広場」を毎月開催。

(3) こども園への移行

- ①平成28年4月より幼保連携型認定こども園に移行予定であり、バスコースの変更、預り保育の利用人数増員、完全給食の実施等を検討し決定。

学校法人尚絅学園 平成28年度事業計画

1. はじめに

尚絅学園は、平成25年度に学園の将来計画である「長期ビジョン(将来像)と中長期行動計画」をスタートさせましたが、その後の学園を取り巻く環境変化や計画の進捗状況等を勘案し、平成27年度に第一回目の改定として、重点目標の設定、優先順位の変更およびタイムスケジュールの再検討等、計画の一部見直しを実施しました。

平成28年度は、次年度が中長期行動計画の折り返し点であることを踏まえ、建学の精神を基本に「特色ある教育の質の向上」と「地域連携の強化」に取り組みつつ、女子総合学園としての利点を更に追及し、地域社会からその存在意義を十分認識していただけるよう努めてまいります。

2. 主な施策

(1) 学園全体・学校法人

本学園が教育研究機関として社会の要請に応え、学生生徒の充実かつ快適な学校生活を実現するためには財政基盤の確立が欠かせません。平成27年度は、学生生徒数の増加や特別補助等の獲得など収入の増加と管理部門における支出の抑制に努めましたが、予定した学生・生徒数の確保に至らなかったほか、平成28年4月の認定こども園開設に向けての準備もあり、経常収支の黒字確保は難しい状況にあります。今年度も引き続き教育研究に関わる分野以外での支出について慎重に対処しつつ、全体として支出の抑制に努めてまいります。また、学園にとって重要な学生・生徒の確保にあたっては、入口(入学)・出口(進路・就職)戦略の明確化とあわせて、新たな広報媒体や広報手段を調査・研究し、これまでの入学者実績を詳細に分析し、その結果に基づいた募集活動を積極的に展開していくことといたします。

また、全学グランドデザインの策定・周知により、学園及び設置学校のベクトルを統一し、方向性を明示するとともに、三様監査態勢を確立することで内部統制を堅固なものとし、ガバナンスの強化を図ることとしています。さらに、人事制度や研修体制の充実、施設・設備等の教育環境整備にも努めて参ります。

(2) 尚絅大学・尚絅大学短期大学部

教育面においては、前年度に見直しを行った大学・短期大学部の理念及び使命・目的、学部・学科の教育・研究目的、カリキュラムポリシー等に基づいた自校教育の推進と教育の質向上に取り組みます。具体的には、カリキュラムの編成と検証、学長補佐体制・委員会活動・大学企画室機能の強化、学生の主体的学修の充実、東アジアを中心とする海外の大学との提携の推進、学生支援活動の充実等に取り組みます。研究面においては、研究センターの充実・強化、外部研究費の獲得強化、地域連携及び産学連携による共同研究等の推進と地域活性化への貢献に努めます。

さらに、教育・研究全般においては、各学部・学科が直面している志願者減・入学者減に対応するために学部・学科の構成や収容定員の見直し、教育課程と教育体制の整備、大学入学者選抜改革への早期対応、オープンキャンパス等入試広報の強化等に取り組み、平成29年度に受審する認証評価への適切な対応を行います。

(3) 尚絅中学・高等学校

今年度は「長期ビジョンと中長期計画」に則り各重点施策について以下の通り取り組みます。

- ①「教育内容の改革と尚絅らしさの追求」については、基礎学力の確立に向け『習熟度別』の取組みを具体化し、朝課外・尚絅ゼミに取り入れ実践します。また、国際交流の推進は生徒アンケートの結果を踏まえ情報提供と相談体制の強化を図ります。なお、姉妹校提携は8月をめどに進めてまいります。さらに、クラス編成の検討は生徒の進路ニーズの変化に対応した形で進めてまいります。
- ②「学習意欲あふれる生徒の確保」については、広報活動が重要ですが、その中でも小中学校・塾との連携強化に重点を置いて取り組むこととします。平成27年度より開始した全職員による訪問活動の効果を上げるため出身在校生の近況等をこまめに報告できる体制を整え、塾については意見交換会等を開催し連携を強化します。
- ③「生徒支援改革」については、進路指導の充実・教育相談の充実に向け、年2回の面談時に生徒・保護者への情報提供を強化するとともにニーズ把握を徹底し、きめ細かな対応に取り組みます。
- ④「教育指導力の向上」については、従来の職員研修に加えて、公立学校の職員研修プログラムに適宜職員を派遣して指導力の向上に努めます。
- ⑤「地域連携の推進」については、本校主催の各種大会や部活動の合同練習会等に加えて、中体連の公式戦会場や学習塾の模擬試験会場等を積極的に誘致し、地域連携の推進に取り組みます。

(4) 尚絅大学短期大学部附属こども園

こども園の理念に基づき、教育と保育を一体的に行い、子どもの健やかな成長が図られるよう適当な環境を与えて、その心身の発達を助長するとともに、保護者に対する子育て支援を行うために、初年度より特色ある園づくりを行います。

第一に、本園の特徴である豊かな自然環境を生かした教育及び保育、異年齢交流保育、食育活動、特別支援教育等に取り組みます。

第二に、魅力ある自然環境づくり、バスコース検討、預かり保育の内容検討、延長保育・給食の実施等教育・保育環境の整備に努め、地域に必要なとされる教育・保育施設を目指します。

第三に、子育て支援室を開設し、尚絅子育て研究センターと連携して園児及び地域の保護者への子育て支援を行います。また、子育てに関する講演会及び講習会の実施並びに相談・援助等機能の充実・強化に取り組みます。

本年度はこども園設置初年度であり、こども園設置の周知にも努めるとともに、保育教諭に対する研修の充実、地域連携活動にも注力してまいります。また、短期大学部附属こども園としての利点を活かし、教育・保育・食育面について短期大学部教員との連携を強化します。

尚絅大学 尚絅大学短期大学部

尚絅祭 ―がまだせ尚絅―

11/19(土)・20(日) 10:00～

- ・クラスバザー ・研究発表
・カラオケコンテスト ・ファッションショー
・ミスコンテスト ・ゲストライブなど

11月20日(日) 進学相談会同時開催



第4回ホームカミングデイ《尚絅祭と同時開催》

11/20(日) 10:00～15:00

(受付9:30～ 九品寺・武蔵ヶ丘キャンパス正門)

尚絅大学・尚絅大学短期大学部卒業生の皆さん、
久しぶりに母校を訪れてみませんか？

内容／講演会・交流会・同窓会カフェ・展示など



尚絅中学校 尚絅高等学校

文化祭 7/17(日) 10:00～14:00



同時開催
＼年に一度は尚絅へ帰ろう/
ホームカミングデイ
内容
・手作り教室 ・グッズ販売
・等身大パネル写真撮影
・卒業生のその後など

体育祭 9/23(金) 9:00～

場所:熊本県民総合運動公園スポーツ広場



尚絅コンサート 10/28(金) 開演13:30～

場所:熊本県立劇場にて開催予定
生徒・保護者・同窓生によるコンサートです。



平成28年度 尚絅公開講座 中止のお知らせ

このたびの平成28年熊本地震の影響により、9月に予定しておりました「尚絅公開講座」は中止となりました。
受講ご希望の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いします。